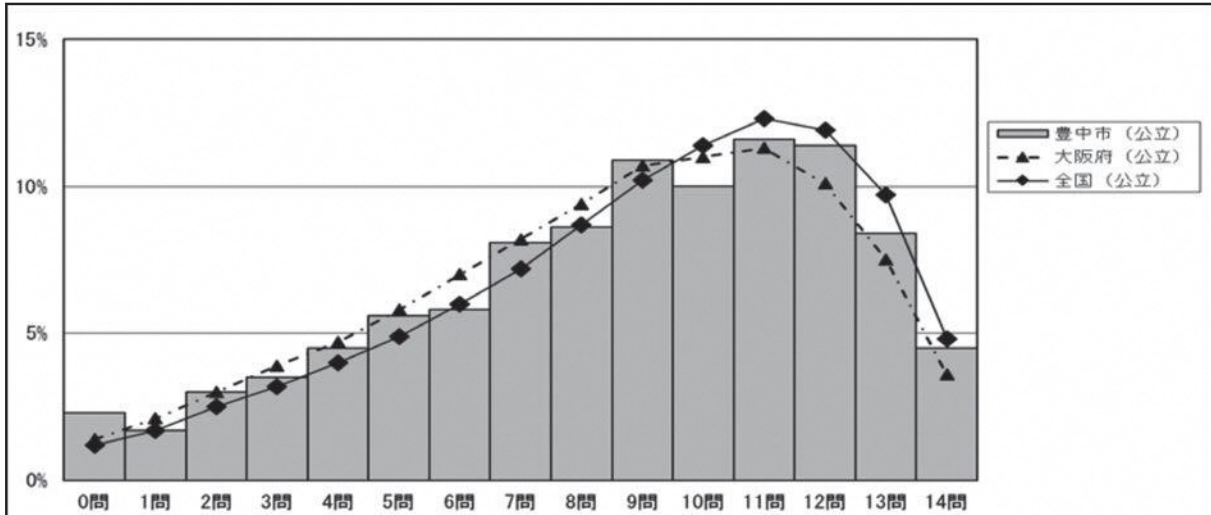


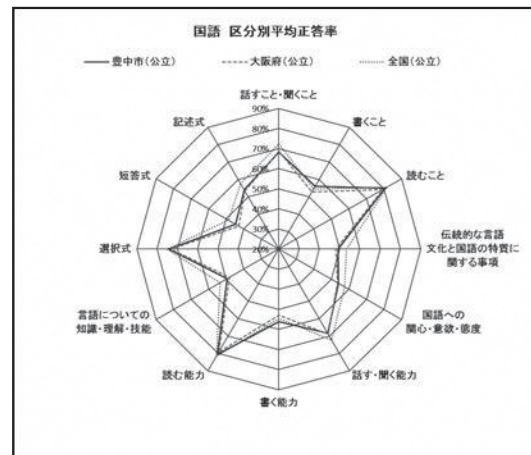
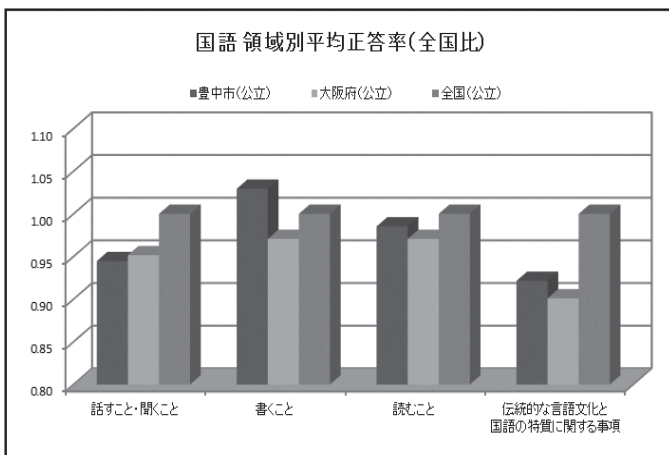
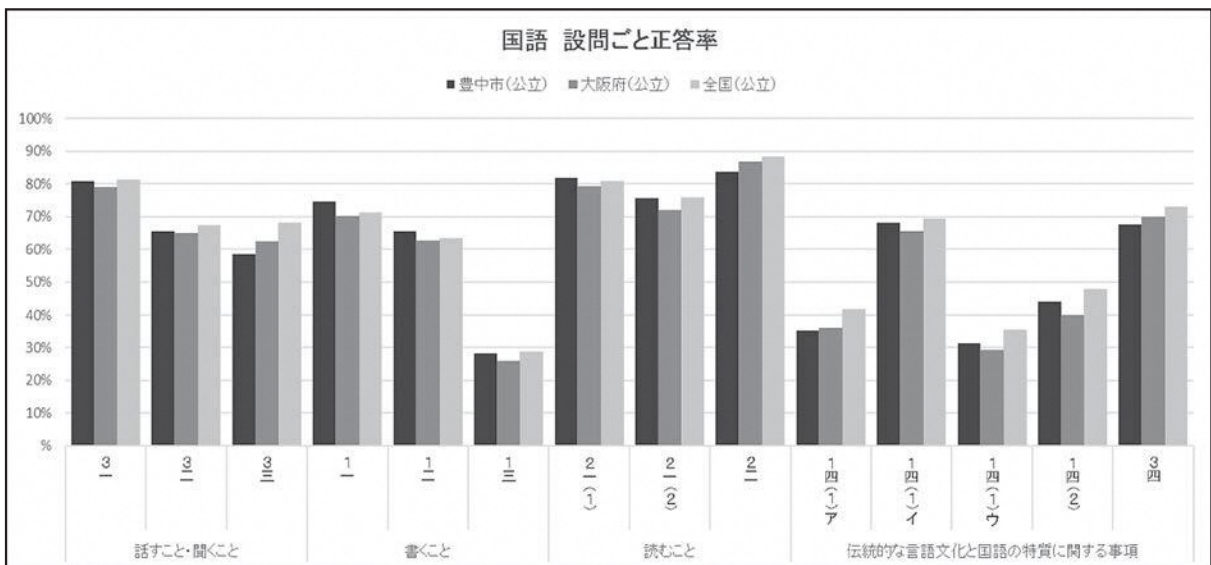
Ⅱ 教科に関する調査報告

小学校 国語の調査結果

国語 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



総問題数 14 問中、11 問の正答数を頂点とする右寄りの山型に分布している。



話すこと・聞くこと

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	豊中市 (公立)	大阪府 (公立)	全国 (公立)
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
3一	畳職人への【インタビューの様子】の ア に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	80.8	79.0	81.3
3二	畳職人への【インタビューの様子】の イ の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	65.4	64.9	67.4
3三	【インタビューの様子】の イ に、畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	58.5	62.4	68.2

□話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることは、概ねできている。

■目的に応じて、質問を工夫することに課題がある。

改善に向けて

- ・「質問の仕方」を技能として学ぶだけではなく、「何のために、どのような情報を聞き出したいのか」といった目的を明確にしてインタビューに臨むことが重要である。

■話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることに課題がある。

改善に向けて

- ・自分の考えをまとめるためには、相手からどのような情報を聞き出し、その情報をどのように活用するのかのように、インタビューの目的を明確に持って聞くことが重要である。

課題があった問題

■話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

(正答率 豊中市 58.5% 全国 68.2%)

3

岸さんは、町の広報紙に取り上げられていた量職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報紙の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報紙の記事】

わが町の達人 ～第25回～
 「部屋の床に畳をびたりとおさめる量職人」

店主の大谷達さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。
 部屋の床にすぎ間も段差もなくびたりとおさめる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにびたりとおさめることができる。
 「私にとっても、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人をつとめることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

大谷さんはどのような思いや考えをもって、たまたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

大谷さんが話しているたまたみのみりよくは何だろうか。

【インタビューの様子】

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報紙の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお話しします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお話しします。

岸さん では、早速ですが、広報紙で大谷さんは、「私にとっても、畳はとてもみりよくてきなものです」とおっしゃってましたよね。どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の畳について言えば、全て一点物だということなんです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作りで仕上げています。ですから、完成した畳は同じように見えても、それぞれに個性があるんです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのです。それはつまり、

大谷さん そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。では、どのようにして腕をみがいたのですか。

岸さん

大谷さん

岸さん

大谷さん

岸さん

大谷さん

岸さん

大谷さん

岸さん

大谷さん

岸さん

作るうと、ちょうど戦し続けているところがあるが心に残り残りました。(57文字)

(正答例)

特	に、																		
---	----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※左の縦線は書き用紙の下書き用紙で、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※右の横線は書き用紙のフチで、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」の「イ」に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

- 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

大谷さん 畳を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術を接し方を身につけたのですか。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありますが、何とか親方のようになりたいと思いながら、修業をしていました。

岸さん そのような思いをもっていたのですか。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもつて、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん お話し下さい。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしていたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしてきましたが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

大谷さん ましたぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

書くこと

設問 番号	設問の概要	出題の趣旨	豊中市 (公立)	大阪府 (公立)	全国 (公立)
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	74.5	70.1	71.2
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	65.4	62.7	63.4
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	28.3	25.9	28.8

□図表やグラフなどを用いた目的を捉えることは、できている。

■情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることに課題がある。

改善に向けて

- ・自分が伝えたい情報を相手に分かりやすく伝えるためには、収集した情報の中から必要な内容を整理して書くことが重要である。そのためには、誰にどのような目的で伝えようとして書くのかを明確にすることが大切である。

■目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。

改善に向けて

- ・自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。その際、文章の種類や特徴を踏まえて書くことが重要である。

課題があった問題

■目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く

(正答率 豊中市 28.3% 全国 28.8%)

1

高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することにしました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。



公衆電話について

高橋 めぐみ

1 はじめに
先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くにあつたはずの公衆電話がなくなっていて、こまづいてしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと思い、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが「資料1」です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分まで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまったのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

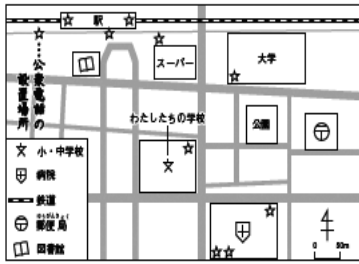
(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の「ア」たいしうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが「資料2」です。「けいたい電話をわすれたときに必要」、「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・停電のときでも、硬貨を使って通話をすることができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

3

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話を必要とするときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが「資料3」です。
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。
調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

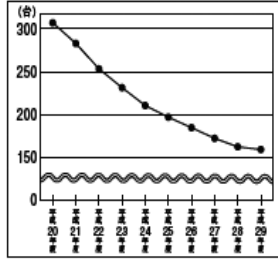
〈資料3〉 公衆電話の設置場所を示した地図



〈資料2〉 公衆電話が必要なる理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

〈資料1〉 公衆電話設置台数の移り変わり



三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [] に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。 [] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十文字以上、七十文字以内をまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらの行を答えたいかで、続けて書きましょう。

なぜなら、	●
調査の結果から、	公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。
なぜなら、	
調査の結果から、	
なぜなら、	
調査の結果から、	
なぜなら、	
調査の結果から、	
なぜなら、	
調査の結果から、	
なぜなら、	

(正答例)
(一)なぜなら、(二)公しゆう電話は、主にけいたい電話を使うことができなるときに必要とされたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。(68文字)

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカぎらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

読むこと

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	豊中市 (公立)	大阪府 (公立)	全国 (公立)
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
2- (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の ア に入る、 疑問に思ったこと の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	82.0	79.2	80.7
2- (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の イ に、 疑問に思ったこと の②に対する答えになるように考えて書く		75.6	72.0	75.9
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	83.8	86.9	88.5

□目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことは、概ねできている。

□目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことは、概ねできている。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	豊中市 (公立)	大阪府 (公立)	全国 (公立)
			正答率(%)	正答率(%)	正答率(%)
1四 (1) ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部アを、漢字を使って書き直す (調査のたいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	35.2	36.2	41.9
1四 (1) イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部イを、漢字を使って書き直す (友達にかぎらず)		68.2	65.4	69.4
1四 (1) ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の _____ 部ウを、漢字を使って書き直す (かんしんをもってもらいたい)		31.4	29.3	35.6
1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の _____ の1文を、	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って	44.1	40.1	47.8

	接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	内容を分けて書く			
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の ウ に入る適切なものを選択する（習うより慣れよ）	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	67.5	70.0	73.0

■今回出題された漢字について、文の中で正しく使うことに課題がある。

改善に向けて

- ・新出漢字を読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、自分が書いた文章を見直す中で、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにすることが大切である。特に同音異義語は、同じ音からいくつかの熟語を思い浮かべ、それぞれの意味を考えて文脈にふさわしい熟語を選んで書くことが大切である。

■文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。

改善に向けて

- ・接続語を使って複数の文に分けて書き直す際、文と文の意味のつながりに気を付けて分けているか、接続語の役割を正しく捉え、適切に選んで使っているか、文末表現を整えているかという点などに注意することが大切である。

■ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることに課題がある。

改善に向けて

- ・普段の学習や生活の場面で見付けたことわざや慣用句について辞典などで意味や使い方を確認し、ノートやカードなどに記録するとともに、実感をもって捉えたり使ったりできるようにすることが大切である。

課題があった問題

■学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

(1四(1)ア：正答率 豊中市 35.2% 全国 41.9%)

(1四(1)ウ：正答率 豊中市 31.4% 全国 35.6%)

■文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く

(1四(2) : 正答率 豊中市 44.1% 全国 47.8%)

四 高橋さんは、「報告する文章」を書き終え、読み返しています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 高橋さんは、習っている漢字がひらがなになっているところがあることに気がつき、書き直すことにしました。「報告する文章」の——部アからウのひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

そこで、地いきの人三十人を調査の^アたいしようとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

ア

(正答) ア 対象

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に^イかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について^ウかんしんをもってもらいたいと思います。

イ (らず)

(正答) ウ 関心

ウ

※解答は、解答用紙に書きましょう。

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の□の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで」に続く五文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要ときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめることにしました。

□。そこで、□

※解答は、解答用紙に書きましょう。

(正答例) 「思いました。(。そこで、)わたしは、」

(□…比較的できている、概ねできている問題 ■…課題のある問題)